

(1) 設置学科

① 【進学型専門学科 フロンティア理数科】

◇理工系大学進学に特化した専門学科

- ・充実した施設設備を活用した取り組みを重視
- ・研究開発者や最先端の技術習得などを旨として、大学や JAXA など研究機関と連携

② 【工業科 プロジェクト工学科】

- ものづくり分野
 - ・メカトロニクス領域（機械加工専攻・ロボット専攻）
 - ・エレクトロニクス領域（電気専攻・電子情報専攻）
- まちづくり分野
 - ・都市デザイン領域
 - ・建築デザイン領域

◇両分野ともに伝統の 2 校（洛陽工・伏見工）を継承し、さらに進路実現を重視して発展した教育を行う学科

- ・就職は従来通り 100%の内定率を引き継ぐ
- ・進学希望者にも対応した教育課程設置

(2) 特徴

① 生徒の主体的な学習を促すことを目的に全教科でアクティブ・ラーニングを組織的に導入

- ・開校前から教員研修を計画的に実施し、質の高い主体的な学びを促すことを目的に授業手法の研究や交流を図っている。

② プロジェクト型学習

- ・専門分野の知識技術を生かし、チームで課題解決に取り組む。
 - 1年プロジェクト ZERO（2単位）
チームワーク力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力の素地を養う。
 - 2年プロジェクトゼミ（3単位）
社会に役立つ技術を生み出し、自主性・主体性・マネジメント力・課題解決力を育む。
 - 3年プロジェクトゼミ・フロンティアゼミ（2単位）
それぞれの進路目的に応じた課題解決型の学習を深める。

③ 京都工学院 STEM+A 教育（STEAM 教育）

- ・関連性の深い科学（S）技術（T）工学（E）数学（M）にデザイン思考（A）を加えた 5 分野を一体的に学び、理論と実践をつなぎ、新たな発見や柔軟な発想力・問題解決力を育成する。

④ ICT 環境

- ・全館（教室含む）Wi-Fi 環境を整備し、授業や自主学習でタブレット PC を有効活用する。

(3) 支える教育環境

- ・全館 Wi-Fi 環境整備 一人 1 台のタブレット PC 【iPad】
光京都ネットから独立した 京都工学院ネットワークシステム 【BROWNIE（ブラウニー）】
- ・クリエイティブ CUBE プロジェクト型学習の拠点 【プロジェクト LAB】
- ・最新機器を充実させたテクニカルステーションなど環境抜群の実習施設
- ・演習室や和室整備
- ・800 名以上収容できるホールや 100 名規模のプレゼンテーションルーム
- ・開放的な中庭や伏見の景色が一望できるカフェテリア
- ・公立高校最大級の充実した体育施設
最新の人工芝グラウンドや野球場、アリーナ、剣道場、高機能トレーニングルームなど



(4) 大学・研究機関との連携

- ・ JAXA 宇宙教育センター
⇒教育委員会と連携協定を結び教員研修やプロジェクトゼミなどの研修プログラム開発
- ・ 京都工芸繊維大学 ⇒理工系人材育成に向けた高大接続プログラムの共同研究
- ・ 龍谷大学理工学部 ⇒技術者教育の発展に寄与するための交流促進
- ・ 産業能率大学 ⇒アクティブ・ラーニングの組織的導入に向けた教員研修
- ・ 金沢工業大学 ⇒課題解決型学習 (PBL) の指導助言や評価手法研修及びカリキュラム共同研究など
- ・ 京都大学 ⇒防災研究所等との連携 (本校学術顧問: 防災研究所副所長 畑山満則教授)
- ・ 日本電産 (株) + 京都先端科学大学と高大産連携協定締結 (平成 30 年 10 月 26 日調印)
⇒グローバル社会で活躍する工学系人材の育成

(5) 社会が求める力 (経済産業省「社会人基礎力」)

- Action (前に踏み出す力) ■ Thinking (考え抜く力) ■ Team Work (チームで働く力)
- これからの時代においては、知識・技能とともに、社会変化に柔軟に対応して自ら課題を設定し、答えのない問いに解を見出し、他者と協調するなどしつつ実行・実現していく力が重要である。

(6) 入学者選抜に関して

・ ,正式には 8 月下旬発表の令和 3 年度入学者選抜要項並びに前期選抜実施要項でご確認ください。
前期選抜 (昨年度)

学科名	系統名等	募集定員	選抜方式	学力検査 () は共通問題	報告書	その他
フロンティア理数科		60	A 方式 募集定員の 100%	国・数・英・理 400 点	150 点	個人面接 30 点
プロジェクト 工学科	ものづくり 分野	108	A 方式 1 型 募集定員の 60% 64 人	(国)・数・(英) 200 点	100 点	集団面接 30 点
			A 方式 2 型 募集定員の 10% 11 人	(国)・数・(英) 200 点	100 点	個人面接・活動実績報告書 100 点 100 点
	まちづくり 分野	72	A 方式 1 型 募集定員の 60% 43 人	(国)・数・(英) 200 点	100 点	集団面接 30 点
			A 方式 2 型 募集定員の 10% 7 人	(国)・数・(英) 200 点	100 点	個人面接・活動実績報告書 100 点 100 点

※A 方式 2 型はラグビーの活動実績に特化します

中期選抜 (昨年度)

学科名	系統名等	募集人員	学力検査	報告書	その他
プロジェクト 工学科	ものづくり 分野	募集定員の 30% 33 人	国・社・数・理・英 200 点	195 点	—
	まちづくり 分野	募集定員の 30% 22 人	国・社・数・理・英 200 点	195 点	—

(7) これからの工学系の高等学校に求められるものを意識した改革

『従来の枠組みに捉われない挑戦』

- ・ 日本の産業構造に新しい風を起し、京都からものづくりのリーダーを輩出する学校を目指す
 - ・ 『就職に強い学校』は今後も継承、加えて科学技術で地域社会の発展に貢献する学校を目指す
 - ・ 社会の変化に柔軟に対応し『斬新な発想力や創造力』を持ってチームで新しい価値を生み出す
 - ・ 『学び』と『働くこと』の繋がりを理解し体感できる京都市唯一の学校が京都工学院高等学校
- 『なぜ学ぶの?』

『自分の将来のため』 だけではなく 『社会・世界をよくするため』 といえる人材育成

本校の魅力は

『主体的に自ら課題を粘り強く設定し、チームで、アイデアや解決策をカタチに (具現化) できる』